



夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの

秀麗の丘

学校だより NO.17
令和4年11月15日
発行人 八木沼孝夫

教育目標 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

知性：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

一中松明 完全燃焼 伝統を繋いだ3年生

11月12日(土)翠ヶ丘公園五老山で松明あかしが行われました。今年は3年ぶりに一般団体も参加することができ、五老山には17本の本松明が設置され、午後6時半過ぎに次々と点火されると五老山一帯は夜空を焦がす火柱がたち、幻想的で壮観な様子が見られました。

一中松明も、午後6時45分ごろに応援団長の●●●●さんが点火すると、きれいに燃え始め、生徒会役員や教職員、PTA・後援会の役員が見守りました。一中松明はきれいに上の方から燃えていき倒れることなく最後まで燃え尽き、完全燃焼しました。本来なら、多くの中生や関係する方々に集まっていただいて応援合戦などを行い、大いに盛り上がりたかったのですがそれができずに残念です。

しかし、新聞社やテレビ局で取材を受けていた前生徒会長や応援団長の生徒が話していたように、途絶えようとしていた一中松明の伝統をしっかりと受け継いで、次に繋いだことによって、須賀川や一中の伝統の重みを実感することができたとともに、須賀川や一中に誇りを持つことができたのではないかと思います。

今回、一中松明が完全燃焼することができましたのも、竹切り・茅刈りの段階からご協力いただいた多くの方々のおかげです。衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



応援団長による点火



17本の本松明に点火



生徒会役員が見届けました



きれいに燃える一中松明

松明出発式 松明運搬練習も行いました。

松明あかしの前日、11月11日(金)一中松明の出発式を行いました。当初の予定では、出発式の前に松明運搬の技術継承のため、全校生徒で松明を担ぎながら校庭を練り歩く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大しているために実施を見送ることになりました。

出発式では、前生徒会長の●●●さんが「一中松明に対する熱い思い」を発表し、応援団の指揮のもと全校生徒で松明に「エール」を送り、トラックで運ばれた一中松明を見送りました。

また、出発式で松明を担ぐことができませんでしたが、11月1日(火)と7日(月)の2回、松明運搬練習を行いました。はじめに全校生徒で肩合わせをして担ぐ位置を決め、担ぎ棒の持ち方やタイミングを確認しました。担がない生徒も松明を乗せる馬や横断幕、絵のぼりやのぼり旗を持つ係を決めました。

重さ1tの松明で危険も伴いますが、先生方の指示のもとスムーズに担ぐことができました。残念ながら松明運搬はできませんでしたが、今年の経験は来年に繋がるはずで、来年の松明運搬が楽しみです。



生徒会長の話



応援団による指揮



全校生徒でエールを送る



トラックで運ばれる松明



肩の高さを合わせます



担ぎ棒の扱い方の練習



スムーズに運ぶ一中生



全員法被を着て

三者教育相談 お世話になりました

10月26日(水)～11月2日(水)三者教育相談が行われていましたが、保護者の皆様におかれましては、大変お忙しい中來校していただきありがとうございました。

三者教育相談では、学校でのお子さんの学習や生活の様子などをお話させていただいたり、ご家庭でのお子さんの様子をお伺いしたりして有意義な懇談となりました。また、卒業後の進路についても、お子さんと一緒にお話をさせていただきました。今後、今回の三者教育相談で話し合われた内容をお子さんの支援に生かしてまいりたいと思います。

これからも、本校では保護者の皆様と連携を図りながら、子どもたちの健やかな成長を願って支援してまいりたいと思いますので、何かありましたらお気軽にご相談いただければ幸いです。



三者教育相談の様子

みんなの善意を届けました 赤い羽根共同募金

11月1日(火)、須賀川市社会福祉協議会の方にお越しいただいて、生徒会専門部のJRC部が集めた赤い羽根共同募金をお渡ししました。

JRC部が、給食の時間に放送で呼びかけたり、各学級で呼びかけたりした結果、5,551円の善意が集まりました。

3年のJRC部前部長の●●●●さんが代表してお渡ししましたが、●●さんは「みんなの善意を福祉に役立てていただければうれしいです。」と社会福祉協議会の方に感想を述べていました。



募金を手渡すJRC前部長

地域グリーン作戦を行いました

11月10日(木)6校時に、「地域グリーン作戦」を全校生が行いました。例年「松明あかし」前に、きれいにして観光客をお迎えしようとしている行事です。3年ぶりに一中松明も参加できるということで、生徒達は、張り切ってゴミを拾っていました。また本校はSDGsに力を入れています。地域の環境保全の観点からも有意義な活動でした。

こういった活動をとおして、日頃お世話になっている地域に少しは貢献できたのではないかと思います。



4号線沿いのゴミを拾う一中生

21日(月)は期末テスト メディア・コントロールの取組を生かして

11月21日(月)に2学期期末テストが行われます。この期末テストに向けて生徒会学習部からテストの範囲表や予想問題集が配られて、計画的にテスト勉強を行えるようにしています。また13日(日)からは部活動も休止となっています。

期末テストは2学期の評価に大きく影響するテストでもあります。また3年生にとっては自分の進路を左右する場合もあります。

2学期の学習の成果を発揮するためにも、現在全校生徒で行っている「メディア・コントロール」の取組を上手に活用し、スマホやタブレットを利用する時間を減らし、ゲームやテレビを我慢するなど、時間を有効に使ってテスト勉強に取り組むことを期待しています。



11月28日(月)は「MY弁当の日」です

11月28日(月)に「MY弁当の日」の取組を行います。この日のお弁当は、自分でお弁当を作ったり、メニューを考えて買い物をしたり、1品だけは自分で作ってみたりと自分のお弁当作りに関わることにしています。お弁当作りを通して、食生活や健康に対する関心を高めるとともに、家族との触れ合う機会を増やしたり、家族への感謝の気持ちを育んだりすることを目的にしています。

この「MY弁当の日」を行うにあたって、本日、各学年ごとに第一小学校の栄養教諭の先生にお弁当づくりのポイントや栄養バランスなどを指導していただきました。

朝の忙しい時間にお子さんのお弁当作りで大変かもしれませんが、必ずお子さんにとってプラスになるはずです。

日頃、料理やお弁当作りしていないお子さんが多いと思われるので、ご家庭の方からお子さんにアドバイスをしていただくなど、ご協力をお願いします。



※ノパメールでお知らせしましたが、期末テストと「MY弁当の日」は当初の予定から変更させていただいております。

須賀川市の伝統行事で日本三大火祭りにも数えられる「松明あかし」に一中松明が3年ぶりに参加することができました。松明あかし当日、赤々と燃える一中松明をはじめとする17本の松明の炎を見て、改めて松明あかしの良さを実感することができました。応援合戦はできませんでしたが、多くの観光客に囲まれて大きな松明に点火する時の緊張感、どんな風に燃えるのだろうかと不安の中最後まできれいに燃えてほしいと願う気持ち、寒さの中松明の炎の熱波で熱くなる体、松明あかしに参加する時の様々な感情や記憶がよみがえりました。これからも一中生に「松明あかし」の良さを味わってほしいと願うとともに、来年こそは、みんなで大きな声で校歌が歌えることを切に願うばかりです。教員として須賀川市の中学校に赴任して20年余り、教員生活最後の年にまた「松明あかし」の感動を体験することができて、生徒をはじめ多くの方々に感謝いたします。